

平成29年度未来図会議年間テーマ

「はまって、かだつて」に始まるノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり
～障がいや個性などを意識することのない、誰もが暮らしやすいまち～

平成29年度 第9回（東日本大震災後 第85回）

陸前高田市保健医療福祉未来図会議

平成30年2月16日(金) 13:30～15:30

陸前高田市役所4号棟第6会議室

次 第

◆テーマ

「地域支え合い協議体について～情報共有とさらなる課題解決に向けて～」

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 内 容

（1）未来図会議が目指してきたこと

陸前高田市被災地絆（きずな・ほだし）づくりアドバイザー 岩室紳也

（2）改めて地域支え合い協議体について

陸前高田市民生部保健課 地域包括支援センター

副主幹兼包括支援係長 佐藤咲恵

（3）平成29年度の取り組みから見てきた地域での困りごとについて

陸前高田市民生部保健課 地域包括支援センター

生活支援コーディネーター 金野康子

（4）各町の地域支え合い協議体の実際

NPO法人 陸前高田まちづくり協働センター 黄川田美和氏

（5）参加者のみなさまと「はまってけらいん、かだつてけらいん」

⇒ テーマ：「地域での困りごと、どう、つないでいますか？」

4 その他連絡・アナウンス

・紙芝居風落とし絵「命のきんちゃくぶくろ」 読書ボランティア有志のみなさん

5 閉 会

【事務局：陸前高田市民生部保健課】

※次回（第86回）：平成30年3月23日（金）13:30～15:30

◆3月メインテーマ（仮）：**はまかだスポットガイドについて**

◆会場：陸前高田市コミュニティホール 2階大会議室

平成30年度の陸前高田市保健医療福祉未来図会議の予定

○開催日程（案）

※未定

進め方、開催頻度等、調整中

○未来図会議（はまかだ推進会議）の趣旨

住民の生活にかかわる関係者が集まり、住民一人一人の健康で文化的な生活及びノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの実現を目指し、震災からの復興に向けた地域にとってよりよい体制づくりに寄与し続けられるよう、保健医療福祉分野の視点から中・長期的な展望を議論する。

○大きな方向性

- ・ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの推進
「はまってけらいん、かだってけらいん運動」の推進
- ・ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの融合・実践
- ・市民・他分野機関、他地域との協働、未来図（計画）策定
- ・居場所づくり、相互の経験に学ぶネットワークづくり

○陸前高田市保健医療福祉未来図会議（はまかだ推進会議）メーリングリスト

◆こちらまでお知らせください。

<http://goo.gl/forms/NFUsNqBn3c>

平成29年度 第9回
(震災後85回)
陸前高田市
保健医療福祉未来図会議

平成30年2月16日(金) 13:30~15:30
陸前高田市役所4号棟第6会議室

本日(H30.2/16)の会議の概要

◆テーマ

地域支え合い協議体について
~情報共有とさらなる課題解決に向けて~

本日(H30.2/16)の会議の進め方①

◆タイムスケジュール

(1) 未来図会議が目指してきたこと

陸前高田市被災地絆(きずな・ほだし)づくり
アドバイザー 岩室紳也

(2) 改めて地域支え合い協議体について

陸前高田市民生部保健課 地域包括支援センター
副主幹兼包括支援係長 佐藤咲恵

本日(H30.2/16)の会議の進め方②

◆タイムスケジュール

(3) 平成29年度の取り組みから見てきた地域
での困りごとについて

陸前高田市民生部保健課 地域包括支援センター
生活支援コーディネーター 金野康子

(4) 各町の地域支え合い協議体の実際

NPO法人 陸前高田まちづくり協働センター
黄川田美和氏

本日(H30.2/16)の会議の進め方③

◆タイムスケジュール

(3) 参加者のみなさまと

「はまってけらいん、かだつてけらいん」

⇒ テーマ:

地域での困りごと、どう、つないでいますか?

未来図会議が目指してきたこと

ヘルスプロモーション推進センター

陸前高田市ノーマライゼーション大使

岩室紳也

未来図会議の目指すこと

住民の生活にかかわる関係者が集まり、**住民一人一人の健康で文化的な生活及びノーマライゼーションという言葉の** **いらないまちづくり**の実現を目指し、震災のからの復興に向けた地域にとってよりよい体制づくりに寄与し続けられるよう、保健医療福祉分野の視点から中・長期的な展望を議論する。



「ノーマライゼーションという言葉のいらないまち」とは

一人ひとりが、
自分自身の、
そして相手の、
障がい、年齢、セクシュアリティ、病気、国籍といった個性を
意識することのない、
誰もが暮らしやすい、住みやすいまち

「ノーマライゼーションという言葉が必要なまち」とは

一人ひとりが、
自分自身の、
そして相手の、
障がい、年齢、セクシュアリティ、病気、国籍といった個性を
意識しながら、意識させられながら
暮らさざるを得ない、ストレスの多いまち



読賣新聞

2017年(平成29年) 2月25日 土曜日

みづめる 相模原教員事件

海板橋一氏

「感じたこと 口にする機会を」

私たちが大人は、障害のある人を「手助けしなければいけない存在」、自分を手助けする存在」と思い込んでいる。私と「彼ら」は根本的に違う存在」という捉え方は、事件を起こした容疑者と同じだ。

「感じたこと 口にする機会を」

「感じたこと 口にする機会を」

「感じたこと 口にする機会を」



健康日本21(第2次)概念図

健康寿命の延伸・健康格差の縮小

ソーシャルキャピタルの向上

①地域のつながりの強化

〈ソーシャルキャピタルの向上〉

- ①地域のつながりの強化

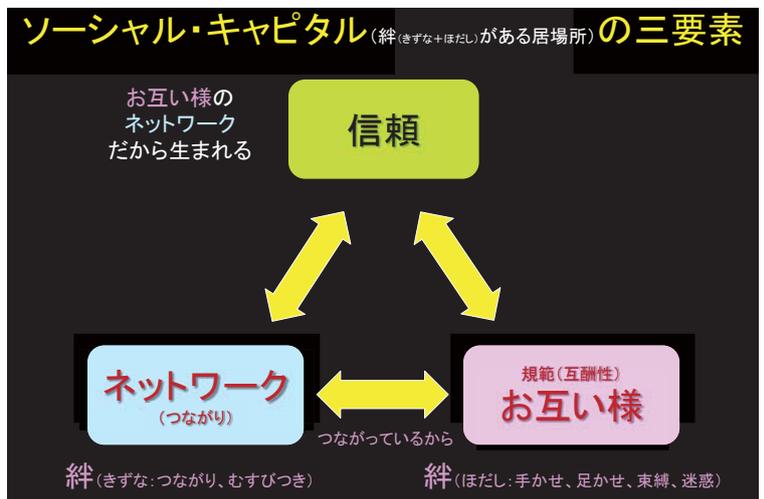
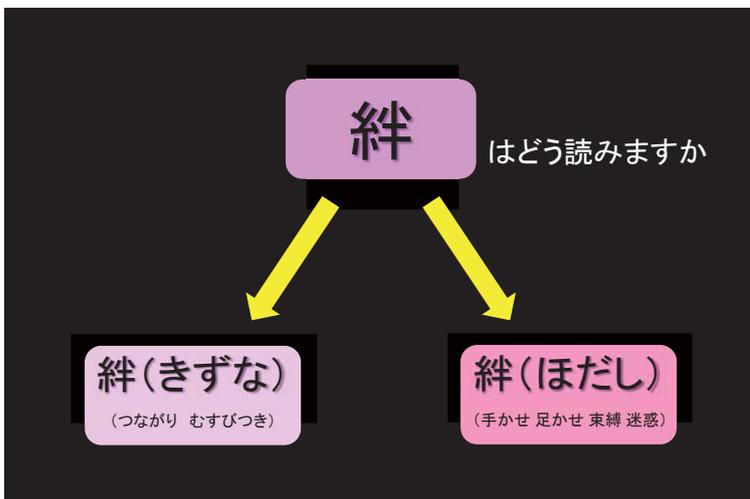
〈多様な活動主体による自発的取組の推進〉

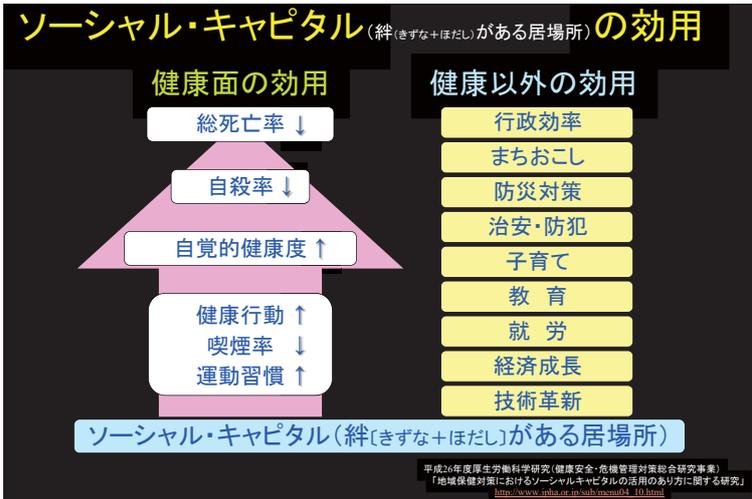
- ②健康づくりに主体的に関わる国民の割合の増加
- ③健康づくりの活動に主体的に取り組む企業数の増加
- ④健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数の増加

〈健康格差の縮小〉

- ⑤健康格差の実態を把握し、対策に取り組む自治体の増加

「つながり」と言えば「絆」?





自立は、依存先を増やすこと

居場所、絆(きずな+ほだし)、関係性が不可欠

希望は、絶望を分かち合うこと

熊谷晋一郎

https://www.tokyo-jinken.or.jp/publication/tj_56_interview.htm



雑談自体も緩和ケア

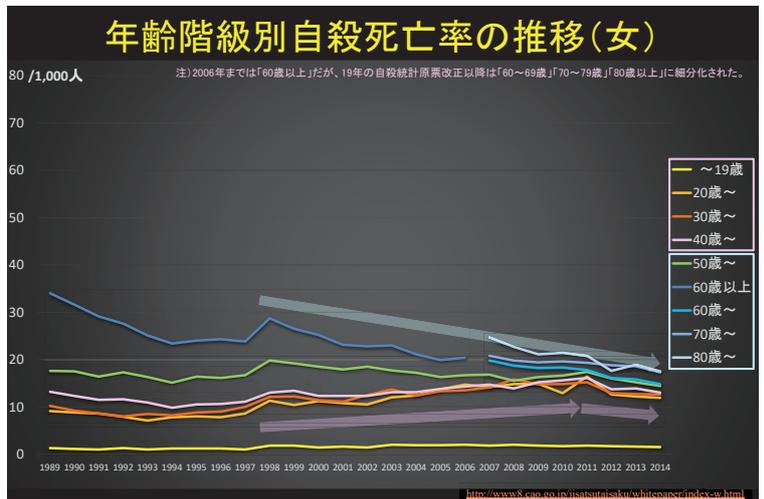
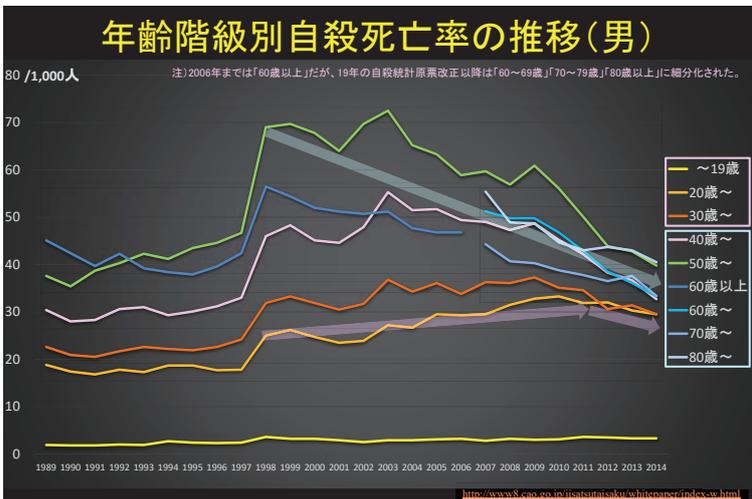
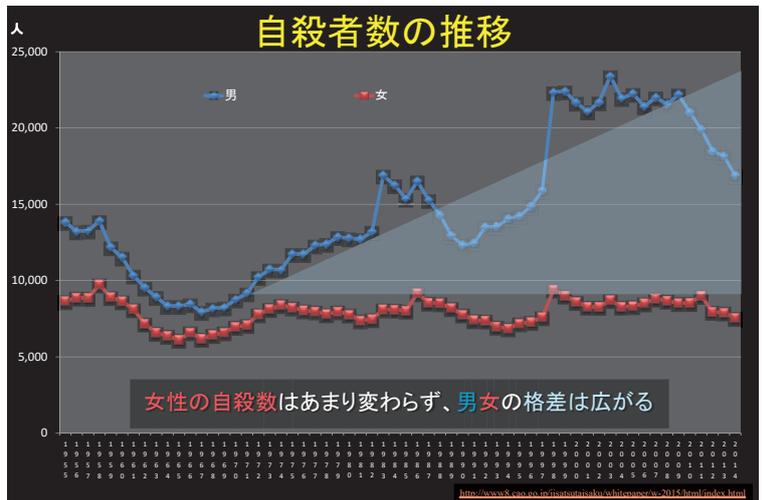
⇒人は話すことによって癒される

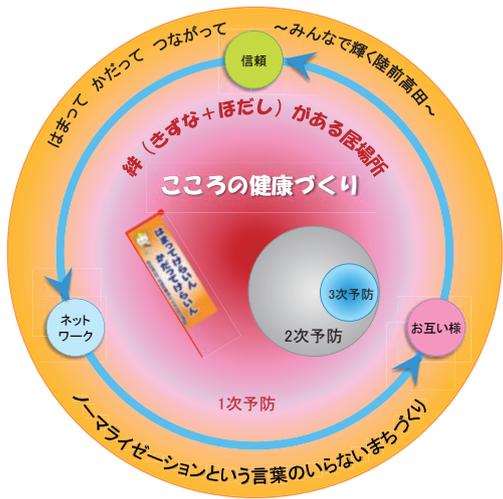
カール・ロジャース



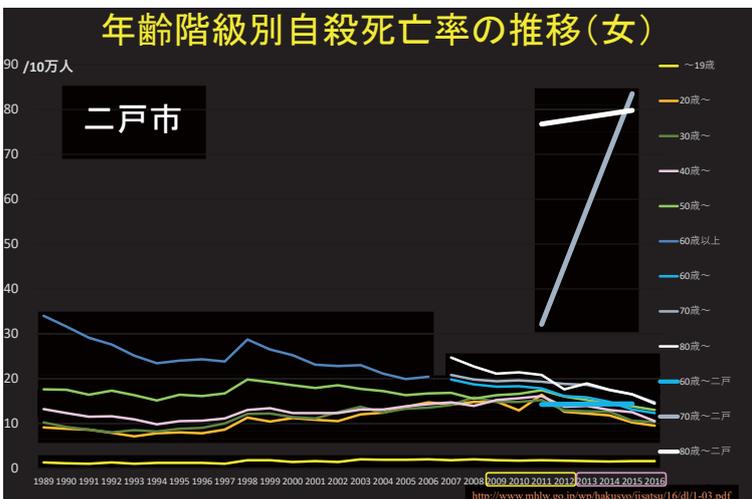
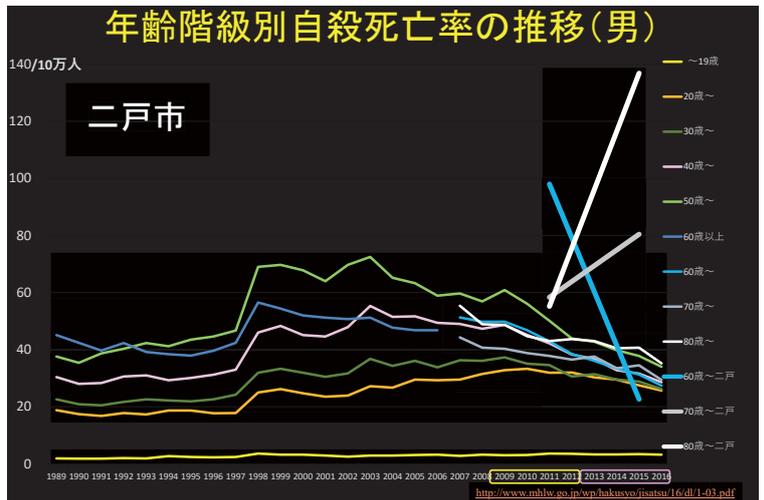
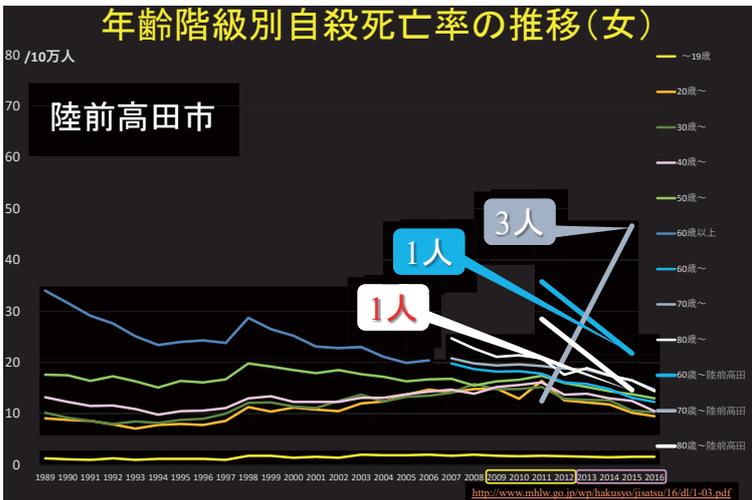
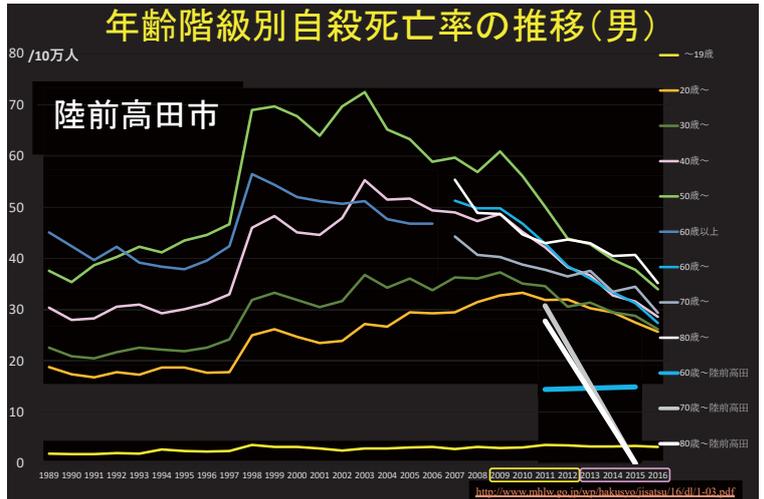



岩手県立大船渡病院緩和医療科
<http://sofinfo.hn.com/kanshoucare.html>
 村上雅彦先生提供

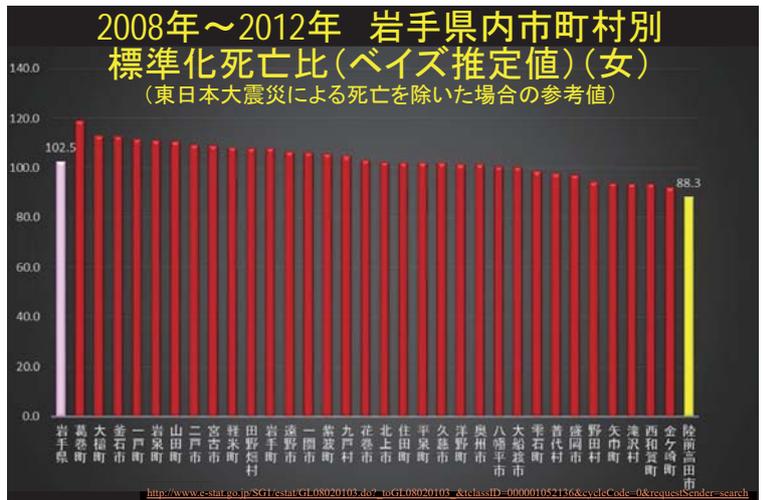
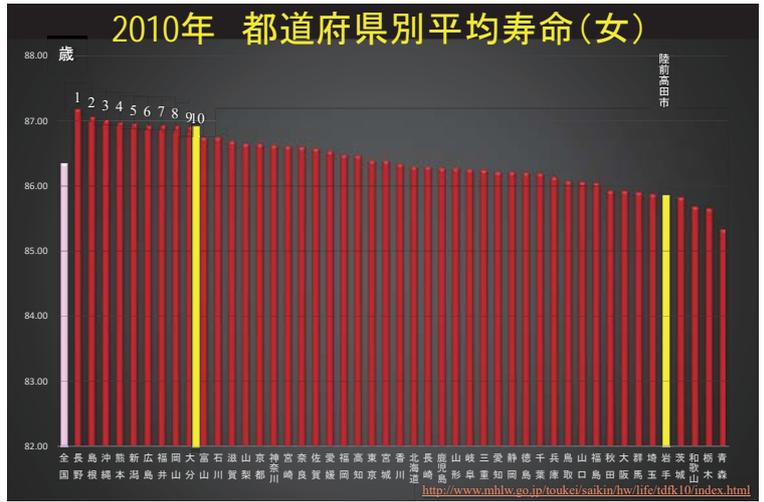




- ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり**
はまかだの推進 信頼 ネットワーク お互い様
- はまって かだって つながって ~みんなで輝く陸前高田~**
はまかだの推進 はまかだスポーツガイド
- ソーシャルキャピタルの醸成 絆(きずな+ほだし)がある居場所づくり**
信頼 ネットワーク お互い様
- こころの健康づくり(1次予防) 地域づくり**
はまかだの推進 はまかだスポーツガイド
- こころの健康づくり(2次予防) 早期発見・早期治療**
精神疾患 精神障害 こころの健康問題がある人と周囲の人への支援 ゲートキーパー
- こころの健康づくり(3次予防) 自死遺族・周囲の人への支援**
自死遺族 自死未遂者 周囲の人への支援



データが示す
陸前高田市の健康度



そもそも「雄(オス)」とは？

群れない習性

関係性に学べない、一人で犯罪

欲望(性欲・顕示欲・独占欲、等々)の塊(かたまり)

名刺と役割がないと人前に出られず

「プライド」の生き物

人に言われても変われず、おだてられないといじける

そもそも「雌(メス)」とは？

群れる習性

周りに合わせ、関係性に学び、癒される

欲望(食欲・愛情欲・物欲、等々)がオスと異なる

日常の中に幸せと役割を見つけ

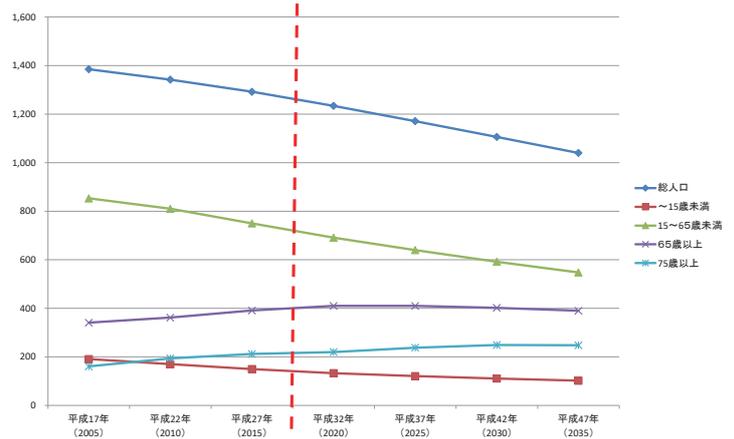
「プライド」より「本能」と「あきらめ」の生き物

「まあいいか」と現実を受け入れ続ける

陸前高田市の現状と地域支え合い協議体

陸前高田市地域包括支援センター

岩手県人口動態の状況と将来



陸前高田市 人口の推移

(各年9月末現在)

区分	H24年(2012年)	H25年(2013年)	H26年(2014年)	H27年(2015年)	H28年(2016年)	H29年(2017年)	
総人口	20,772	20,600	20,426	20,208	19,931	19,599	
15歳未満	2,238	2,144	2,071	1,997	1,901	1,845	
15歳~65歳未満	11,644	11,431	11,210	10,942	10,674	10,384	
65歳以上	6,890	7,025	7,145	7,269	7,356	7,370	
内訳	前期高齢者	3,034	3,075	3,182	3,249	3,249	3,216
	後期高齢者	3,856	3,950	3,963	4,020	4,107	4,154
高齢化率	33.2	34.1	35.0	36.0	36.9	37.6	

高齢者世帯の推移

(各年9月末現在)

区分	H24年(2012年)	H25年(2013年)	H26年(2014年)	H27年(2015年)	H28年(2016年)	H29年(2017年)
総世帯数	7,483	7,549	7,647	7,628	7,601	7,601
高齢者のみ世帯	1,855	1,944	2,020	2,125	2,187	2,267
割合	24.8	25.8	26.4	27.9	28.8	29.8
高齢者の単独世帯(再掲)	1,000	1,068	1,114	1,170	1,205	1,279
割合	13.4	14.1	14.6	15.3	15.9	16.8

要介護(要支援)認定者数の推移

(各年9月末現在)

要支援者が増えている!

区分	H24年(2012年)	H25年(2013年)	H26年(2014年)	H27年(2015年)	H28年(2016年)	H29年(2017年)
要支援1	72	58	65	102	119	134
要支援2	142	193	211	182	194	200
要介護1	232	235	226	237	250	254
要介護2	312	351	370	342	313	306
要介護3	217	207	189	205	222	223
要介護4	162	174	193	179	181	174
要介護5	130	143	136	134	143	145
合計	1,267	1,361	1,390	1,381	1,422	1,436

支える人・マンパワーの不足

ケアマネジャーの声 通所サービスについて

- ・ 定員を超えており、希望する施設、曜日に通所することが難しい
- ・ 地域によっては送迎の効率化を考え、曜日の限定を行っていることもある
- ・ 全体的に人材不足。余裕がない状態で、ケアにあたっている
→サービスの低下の可能性?
- ・ 送迎等の移動時間が長く、事業所は効率が悪い

訪問サービスについて

- ・ ヘルパーが足りず、希望の曜日、時間がかなわないことが多い
- ・ 希望する時間より短くなることもある
- ・ 中心部から離れている、雪の心配がある地域では、利用を制限されるケースもある
- ・ ヘルパーは募集をかけても集まらない。(給料が安い、住む場所がない?)

人口構造が変化している

これまで

- ・ 高齢者を下の世代が支えていた
- ・ 在宅介護サービス・施設介護サービスなどが間に合っていた

これから

- ・ 高齢者が増え、支える世代が減る
- ・ サービスを受ける人が増え、支援する人が減る
- ・ 在宅介護サービス・施設介護サービスの利用が思うようにできない

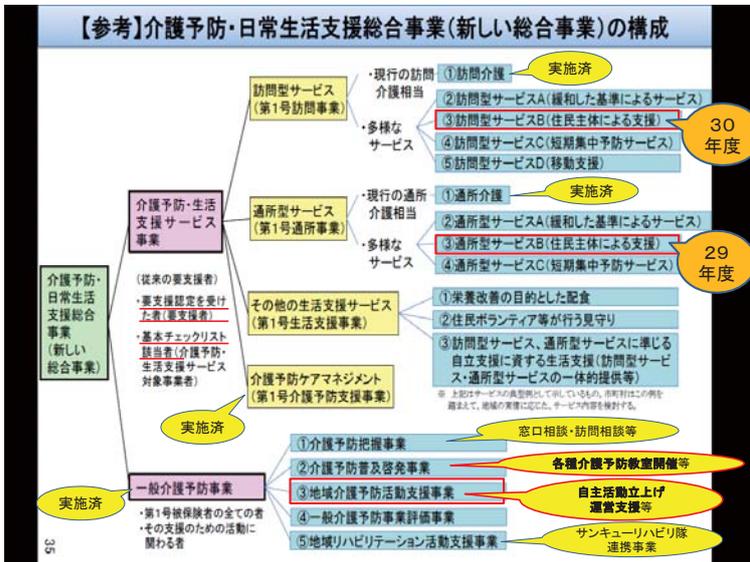
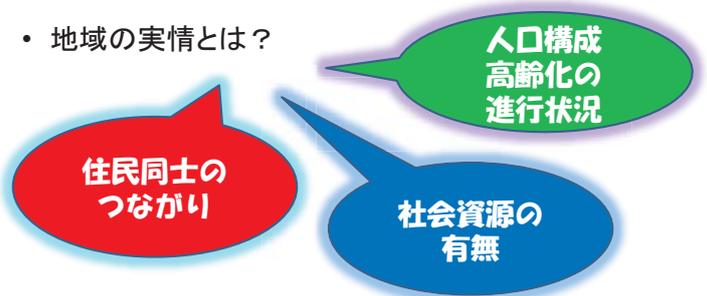


元気な高齢者を増やし健康寿命を延ばす
高齢者が互いに支えあう地域になる

地域包括ケアシステムの構築

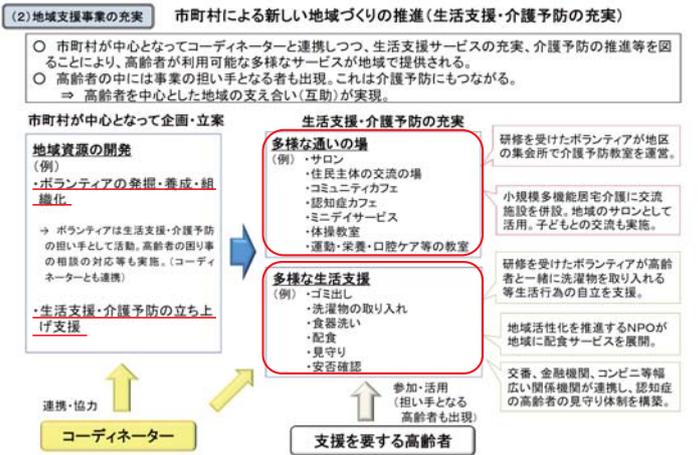
- ・ 可能な限り住み慣れた地域で自分らしい人生を最期まで続けることができるように、日本全国一律ではなく **地域の実情に応じたもの** が求められる

- ・ 地域の実情とは？



生活支援サービス

出展：介護予防・日常生活支援総合事業のガイドライン



具体的にどうすればいいの



まずは 自分が元気であること



陽だまりクラブ
歩いて通える
公民館を活用



13

市が開催するものだけでなく…

自分たちでつくる こともできます

広田町田端 陽だまりクラブから

田端地区から、市役所に
電話がありました

**「近くの公民館で、
何か体動かしてえんだけど、
やり方がわからねえんだ」**



そこで、市ではまず**陽だまりクラブ**
を実施し(全8回) そこから始めて
みることにしました
楽しく過ごした陽だまりクラブの終了後
は、講師の紹介や謝金の補助、
プログラムの考案をお手伝いしました



15



自主グループ
**泊お楽しみ
クラブ**



**いきいき
百歳体操**

自主グループ増加中



ハルディック ウォーキング クラブ

まちなかでも目にする
機会が増えました



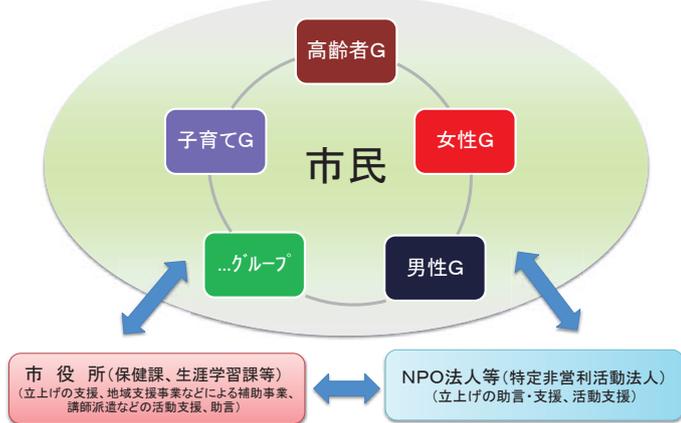
地域に**通える場**が
あることで何が起るのか...

- ★ 住民同士の**つながり**が強化される
- ★ 住民同士の**情報交換**の場となる
- ★ 住民が互いを**知り合う**ことで
支え合うようになる

そして… 居場所ができて役割も生まれ、
住み慣れた場所で安心して生活できる

20

だから、自らが楽しんで心地よいグループを、
気負わずに始めてみてはいかがでしょうか



だれがつくるの？



22

地域支え合い協議体について

目的

地域住民が支え合うことについて、人のつながりや社会資源の開発等、地域の関係団体や住民が共に協議する場を設け、地域の実情に合わせた体制整備を推進する

開催場所

地域コミュニティ推進協議会設置単位11地区（H29年度は10地区）

内容

- (1) 協議する場の設置
- (2) 現状の把握と地域課題・地域資源の抽出
- (3) 地域支え合い体制の構築
- (4) 生活支援の担い手や社会資源の開発
- (5) 協議事項の実践、評価

丸投げは
していません
よ(´▽`)/

委託先

NPO法人 陸前高田まちづくり協働センター（H29年度）

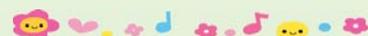
※地域包括支援センターの生活支援コーディネーターと連携し、情報共有している。

平成29年度の取組みから見えてきた
地域での困りごとについて



生活支援コーディネーター

こんの みちこ
金野 康子です。



生活支援 コーディネーターって 何する人？



生活支援コーディネーターとは…

高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく暮らしていけるようにお手伝いする仕事です。

具体的には、地域の特性や困りごとを把握しニーズと取り組みのマッチングなどを行います。

つまり、
**高齢者の皆さんと、皆さんを支える人、
支える仕組みを応援する仕事です！！**

陽だまりクラブ
@横田町第6区会館



陽だまりクラブ
@広田町大陽公民館





ハルディック・ウォーキング
@小友町矢の浦地区

移動販売待ち “はまかだ”



小友町矢の浦
お茶っこ会 (15日会)



朽庵抹茶倶楽部

和野グランドゴルフ愛好会



このように、色々な集まりにお邪魔させていただきました。

その中で、見えた課題・聞こえた声があります。

物（椅子）が必要！

◎再建した公民館で…

公民館は建ったが、椅子がない！高齢の方が多く、立ち上がりの安全の為にも椅子が必要。

◎既存の公民館で…

今までは座布団に座っていたが、立ち上がりが大変になってきた。椅子があれば楽なのに…。

人（中心となる人）が必要！

◎集まって何かやりたいとは思っている。段取りをしてくれる人がいれば、集まりやすいが…。

◎いつもお茶飲みはしている。たまには体操したり、健康に良いことをしてみたい。誰か指導をしてくれないかな。

移動手段について！

◎コミセンで集まりがあるのは知っている。けれど、コミセンまで行けない。

◎買い物・通院が大変！！

横田町では…

移動手段についての勉強会を開催！皆で解決するための**話し合いの場**を持ちました。



地域によって実状は違います。

自分の地域の課題を出し合い、その課題について**地域で話し合う場**をもつ事が大切になってくるのです。



ご清聴ありがとうございました。



★ノルテック見守り隊★

「地域支え合い 協議体構築事業」について
説明を聞いてどう思いましたか？

横田地区



横田地区
話合いの様子

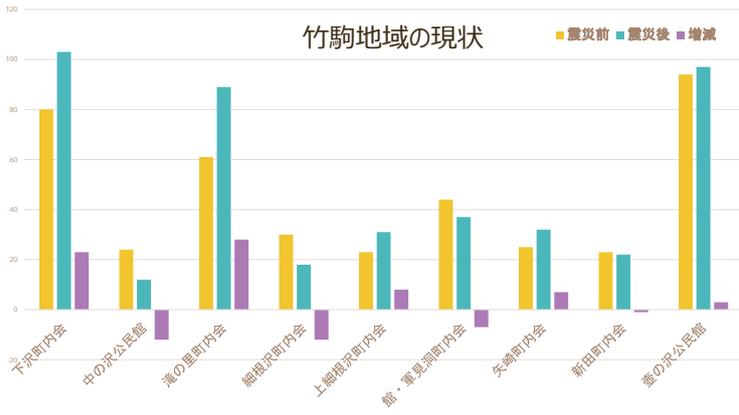


課題について
勉強会

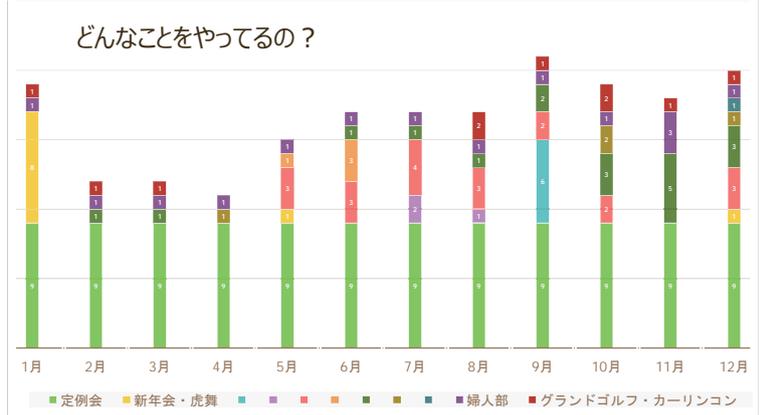
竹駒地区

「継続の必要性！」
「無理しない事が大事！」

竹駒地域の現状



どんなことをやってるの？



生出地区



生出説明会の様子



支え合いマップ

みんなで支え みんなに支えられ
 ~若者の夢を力に~

2018/2/16みんなで「はまかだ」①

テーマ：地域での困りごと、どう、つないでいますか？

グループディスカッション（感想、困りごとをどうつないでいますか）

- ・ 定例会でみんなで集まるのはうらやましい、30分前から集まって情報交換になり大事
- ・ 新しいみなさんとの交流も難しいので、例えば虎舞などの行事にお誘いする
- ・ 60代はまだ若い、地域のリーダーは70代から
- ・ NPOなどのグループとつながるのも大事
- ・ 個人情報にもう少し寛容になってほしい 金婚式や子どもの出生情報など、連携できるように
- ・ 子どもの意見も取り入れてほしい、周知の工夫、場に参加しやすいように
- ・ 集まる場所が必要、支え合うことが大事とひろめていく
- ・ 将来、はまかだを試される時がくる、今は集まれる、がだんだん年をとると…動けない
それでも、はまかだができるといいよね
- ・ 集金がたいへんな地区もある、世帯数が多いとヒトマカセになっている
- ・ 男性7割集まるグループがある、継続させるために、キーパーソンになる人の工夫
- ・ 地域づくりの手段として、ボランティアのポイント制もいいのでは
- ・ 生出：とても仲良く、声をかけあっている、集まり多い
- ・ 米崎：もとの人と震災で移った人で、行事を行っている
- ・ 矢作：畑やグラウンドゴルフしている
- ・ 具体的でわかりやすかった、今までの未来図会議で一番面白かった
- ・ 沿岸の話、高台移転した話も聞きたい、だんだん高齢化の中で考えいこう

2018/2/16みんなで「はまかだ」②

テーマ：地域での困りごと、どう、つないでいますか？

グループディスカッション（感想、困りごとをどうつないでいますか）

- ・ 広田：年1回集まって、会費集めて終わりなのでうらやましい
- ・ 担当する人の意識が大事
- ・ 公民館まで集まるのもたいへん
- ・ お茶のみに集まりたいという声、サポート、お世話する人が大事
- ・ 男性が会長、役職になっているのが多いので、女性も参加できるように
- ・ 被災した地区（沿岸）だと、集まることのできる場所がない
- ・ もとのコミュニティと新しい人とのつながりについて

4 その他連絡・アナウンス

- ・ 紙芝居風落とし絵

「命のきんちゃくぶくろ」

読書ボランティア有志のみなさん

話者：吉田千壽子さん

著者：吉田昌代さん

絵：小林チトセさん

(3) 参加者のみなさまと

「はまってけらいん、かだってけらいん」

⇒テーマ：

地域での困りごと、どう、つないでいますか？

①前半をきいてみての感想

②日頃、ご自身の地域で困りごとがあった時、どうされていますか？

… あきらめる

… 区長さん、公民館長さん、コミセンに…

次回(平成29年度第10回)未来図会議予定

◆日時

平成30年3月23日(金) 13:30~15:30

◆メインテーマ

はまかだスポットガイドについて

◆会場：陸前高田市コミュニティホール2階大会議室

平成29年度の陸前高田市保健医療福祉 未来図会議(月1回)の予定

○日程

H30年：3月23日(金) 13:30~15:30